

単元名 ローマ字①（東京書籍）

本時1 / 3時間

本時のねらい

育成を目指すプログラミング的思考

ローマ字について知り、表を参考にしながらローマ字表記の原則を理解することができる。（知・技）

一般化

複数の物事の関係や規則に気付く。



Stage1

本時のねらいとプログラミング的思考との関連性

本時の学習では、プログラミング的思考の一般化の思考を取り入れ、清音、濁音、拗音等のローマ字について、音節の仕組みを考え、ローマ字の規則に気付く活動に取り組む。母音と子音の色を変えたローマ字表を活用することによって、ローマ字表記の原則を理解しやすくなり、本時のねらいを効果的に達成できる。

学習ツール

Viscuit

Scratch

スライド

スプレッドシート

無

プログラミング的思考に関する活動の流れ  
(展開を想定)

●教師の発問・指示

◇指導上の留意点

※学習ツールを使用する際の留意点

導入

- 教科書のローマ字表を見て、ローマ字と仮名の表記の違いを理解する。
- 母音と子音が色別に示されたローマ字表を見て、ローマ字の音節の仕組みに気付く。

ローマ字の表

	a	i	u	e	o			
	あ	い	う	え	お			
k	か	き	く	け	こ	きゃ	きゅ	きょ
s	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しゅ	しょ
t	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちゅ	ちよ
n	な	に	ぬ	ね	の	nya	nyu	nyo
h	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひゅ	ひょ
m	ま	み	む	め	も	mya	myu	myo

展開

- ローマ字表の空欄に当てはまるアルファベットを考え、表記する。

g	が		ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ
z	ざ		ず	ぜ	ぞ	ざゃ	ずゅ	ぞよ
d	だ	ぢ	づ		ど	ぢゃ	ぢゅ	ぢよ
b	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びゅ	びょ
p	ぱ		ぷ	ぺ				

終末

●「ローマ字を見て、どんなことに気付きますか。」  
◇「あ」「い」「う」「え」「お」「ん」は一字で表され、それ以外の仮名は子音と母音の組合せで表されることに気付かせる。

●「ローマ字で書くときの決まりを見付けましょう。」  
※数種類あるスプレッドシートの中から、必要に応じて印刷または Google Classroom 等で配布し、児童が活動できるよう準備しておく。  
※スプレッドシートは、実態に応じて、工夫を加えてもよい。

◇濁音・半濁音は、日本語と異なり、別な子音が必要になることを理解させる。  
◇拗音はそれぞれの子音と母音の間に、yが入ることも理解させる。  
◇ここでアルファベットの読み方にも触れることによって、外国語活動と併せた知識の定着を図る。

●「空欄に当てはまるローマ字を書きましょう。」  
※スプレッドシートを印刷したものに直接書かせたり、空書きさせたりし、できるだけたくさん書く機会を設ける。  
◇2～3人で表記を確認させ、理解を深めることができるようにする。